

竜舌蘭



学校だより
2月号
喜界町立早町小学校
令和7年2月21日発行

新年度への準備！

校長 西島 常德

現在、学校では全職員で令和7年度に向けた「教育課程」の編成作業を計画的に進めているところです。学校の「教育課程編成作業」は一般的になじみがない言葉で、聞き慣れないと思いますが、学校教育目標を達成するために、学校経営方針に沿って今年度実施された活動の教育的成果をみんなで検証し、子供の実態に応じて改善したり、時代のニーズ（要請）に合わせ新たに改善を加えたりするなど、新年度に向けた大変重要な作業になります。

この時期になるとふと思い出すのが「不易流行」という言葉です。「不易」とは、「時代を超えても変わらないもの」、「流行」とは「時代の変化とともに変えていく必要のあるもの」という意味です。まさに教育課程編成作業の基本的な考えだと思います。

以前勤務していた職場で知り合った教員から一冊の本「贈る言葉」（小原國芳）をいただいたことがあります。その教員は、多摩川大学の創設者小原國芳氏のお孫さんにあたる方で、その本の中に次の文章があります。

「教育教授の態度はまず、二つに分かれます。teachするか、studyさせるかです。教授するか、学習させるかです。与えるのか、掴まえさせるかです。記憶や詰め込みを主にするか、創意工夫を主にするかです。いうまでもなく、与えるgiveする教育よりも、つかませるcatchさせる教育が尊いのです。(後略)1925年 ※ teach(教える) study(学習する) give(与える) catch(掴む)

実に100年前の教育観でありながらも、現在文科省が提唱している「主体的、対話的で深い学び」（教師ではなく、子供が中心となる学び）に相通じるものがあります。時代が変わっても「学ぶ」ということの本質は変わらないようです。

これは学校の教育だけではなく、家庭教育や生涯学習などの社会教育においても同様ではないかと思えます。たとえば、子供の家庭でのお手伝いについて、親はこれこれをしなさいと指示するのをするだけひかえ、子供にどんな時にどんなお手伝いができるのか等々考えさせ、（家族で）話し合い、実践させることが「子供自身の主体的な学びの実現」につながっていくのではないのでしょうか。

校庭の花々も準備！

2月も中旬を過ぎました。ここ数日春めいた陽気のせいか校庭の花壇や花鉢の花たちも次々とおぼみから開花し、次の段階の準備をしているように見えます。卒業式や入学式で、きっと華々しく卒業生や入学生を送り、そして迎えてくれることでしょう。寒風に耐えて咲き誇っている花には感動すら覚えます。ありがたいものです。



【職員室前の花壇】



行事予定

日	曜	行 事
3	月	PTA朝の登校指導
9	日	かがやきの会主催愛校作業
14	金	PTA朝の登校指導
20	木	(祝)春分の日
24	月	第13回卒業式
25	火	修了式 離任式
26	水	PTA送別会

シマ唄・三味線の授業

1月30日（木）には、生涯学習課の川畑さおり先生を講師に迎えて「シマ唄・三味線の授業」を実施しました。子供たちは、「いきゅんにやかな節」の歌詞の意味を習い、三味線で演奏しました。高学年の子供たちは、歌詞の意味も覚えていたり、楽譜も見ずに演奏したりするなど、これまでの経験を生かしながら授業に臨んでいました。これからも、総合的な学習の時間や音楽の時間でシマ唄や三味線に親しみながら、喜界島の文化を楽しんでほしいです。



漢字能力検定



2月7日（金）に「漢字能力検定」を実施しました。今年度は6年生児童と保護者、一般受検者が受検しました。きっと、これまでの復習の成果が発揮できたのではないのでしょうか。3月中旬ごろに結果が分かるので楽しみです。

令和7年度の漢字能力検定は、6月13日（金）に2～6年生を対象に実施します。保護者や一般の方の受検も可能ですので、ぜひ子供たちと一緒に受検されてみてください。

シマ唄・シマゆみた発表会



2月8日（土）には、「シマ唄・シマゆみた発表会」が開催されました。

本校からは3・4年生が参加し、「いきゅんにゃかな節」を発表しました。朝の時間や総合的な学習の時間でしっかりと練習してきた子供たちは、大勢の前でも堂々と演奏してくれました。歌詞の意味も大きな声で説明できていました。

また、当日は個人で参加する子供たちもいて、地域でも喜界島の伝統文化に触れていることが伝わってきました。



サトウキビ伐採・黒糖づくり

2月13日（木）、14日（金）の2日間、例年同様、杉俣さん御夫婦を講師に招いて、6年生が「サトウキビの伐採」と「黒糖づくり」を体験しました。

13日の伐採では、安全な伐採の仕方を学び、みんなで力を合わせて刈り取りました。14日の黒糖づくりでは、始めに、前日に刈り取ったサトウキビを杉俣さんの工場で絞り、その後、学校で搾汁を煮ていきました。子供たちは、それぞれの工程で様々なアドバイスをもらいながら上手に煮詰めていました。自分たちで作った黒糖ということで、とても美味しかったです。御指導くださった杉俣さん、ありがとうございました。



新1年生体験入学・入学説明会

2月18日（火）、「新1年生体験入学・入学説明会」を実施しました。



新1年生体験入学では、現1年生が考えたレクリエーションを楽しんだり、校舎内を探検したりしました。最初は緊張した表情の新1年生もいましたが、少しずつ表情も柔らかくなり、楽しい時間を過ごしていました。また、お世話をしていた現1年生が少しお兄ちゃん、お姉ちゃんになったように見えて微笑ましかったです。

入学説明会では、新1年生の保護者を対象に入学に向けた準備や子供との関わり方について、簡単に説明させていただきました。

初めて小学校入学を迎える保護者の皆さんにとっては、心配事や分からないこともあるかと思えます。入学前に確認したいことがありましたら、お気軽に学校（66-0004）にお問い合わせください。

6名の1年生の入学を心からお待ちしています。



卒業記念「壁面制作」

2月19日（水）には、6年生の卒業記念として、全校児童で「壁面制作」に取り組みました。例年は、6年生児童だけで制作するのですが、今年度は「みんなの思い出」にするために、全員の手形を使った壁面になりました。

少し肌寒い中での制作でしたが、一人一人が手の平にペンキをつけて壁面を完成させていきました。お近くを通られた際は、ぜひご覧ください。

